

児童生徒の「確かな学力」を育む 学校としての取組の点検と見直し

管理職・教務主任・
研究主任・学力向
上担当者 必見

教員が協働し学校全体での取組にするために、今の時期(2月・3月)に自校の「弱み」を明確にし、次年度に向けた見直しを行いましょ



管内に共通する言語能力の「弱み」
参考

【明確化】学力・学習習慣の「弱み」

授業
補充
学習

【日々の授業や学力調査等から把握】
・定着していない学習内容(教科・学年)と言語能力(国語科:話す・聞く、読む、書く)の明確化

家庭
学習

【日々の取組や学習状況調査等から把握】
・家庭学習の「弱み」(時間、学習方法等)の明確化
・「弱み」克服となる手引き等資料の内容と活用状況

管理職の支援

【協働】
「弱み」を克服する手立てを全教員が理解し実践する

学力調査から

【小学校】
書くこと(目的や意図に応じて書く事柄を整理等)、読むこと(複数の叙述を基に捉える等)

【中学校】
書くこと(文章の意味を捉えて考えを書く等)、読むこと(目的に応じて必要な情報を読み取る等)

学習状況調査から

【小中共通】
自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすること

【コーディネート】
学力向上担当者が中心となり、学校全体の取組として推進する

管理職の支援

【見直し】学校全体で取り組む内容・手立て

授業
改善

・克服したい学習内容(単元・関連単元)の重点化
・全教科で共通して充実させたい言語活動の重点化

補充
学習

・克服したい学習内容を扱う教材の選定
・朝学習、放課後学習の時間の確保と指導体制づくり

家庭
学習

・全教員が活用する手引き等資料の作成
* 発達段階に応じた学習方法と学習時間 (例)小 学年×10分以上
中 2時間以上
* 家庭学習の内容と量の調整 (例)掲示板等の設置による見える化
※主に中学校
* 提出物の点検と評価 (例)頑張りを認める言葉掛やまる付け、A・B等の記号によって意欲付けをする